

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月15日		事業所名		療育育広場 ばっそ（廣匠教室）	
項目	チェック項目	評価		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容は改善目標
		はい	いいえ		
環境・体制整備	① 利用定員超過時確保スペースとの関係で適切である	3	3	・前年度を踏まえたスペースを確保してより、もう少し広いとい	令和3年4月より広い場所に移行予定
	② 職員の配置は適切である	4	2		・適切な配置基準が守られていることより、支援の質向上の観点から、適切な職員配置に留意していきます。
	③ 生活空間は、本人に合った、かつ、障害された発達環境になっている。また、障子の特性に、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切に考えられている	5	1		
	④ 生活空間は、清潔で、心幅広く過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている	6		・毎日支援終了後に丁寧な清掃を徹底し、清潔に保つよう心がけております。	・時節柄でできる限りのコロナ感染防止対策を実施しています。
	⑤ 第三者による外部評価を行い、評価結果を公表している	6			
	⑥ 保護者等向け評価により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等向け評価結果を把握し、業務改善につなげている	5	1		
業務改善	⑦ 事業所向け自己評価及び保護者向け評価の結果を踏まえて、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の方向を、事業所の会議やホームページ等で公開している	4	2	・ホームページで公開しております。	・支援計画の作成に際しては、職員から児童発達支援計画の改善について意見を聴取する等、担当の職員と関係的に関わりながら進めていきます
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を公表している	3	3		
	⑨ 職員の質向上を行うための、研修の機会を確保している	5	1		・職員の質向上のためには、研修場内にも計画的に研修機会を設けることを検討していきます。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1	・年初度及び半年後に保護者様との面談を実施し、お子様と保護者様のニーズや課題を把握し、個別支援計画を作成しております。	
	⑪ 子どもの発達特性の状況把握のために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	・独自のシステムを開発し、ソフトとして使用しています。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	・お子様と保護者様のニーズや状況に合わせ、支援内容を設定しております。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			・個別支援計画に沿って支援を行っております。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・職員全員で意見交換を行い、立案しております。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・お子様の発達や興味に応じて、固定化しないようプログラムを作成しております。	
	⑯ 子どもが成長に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	1	・個別活動や集団活動により、職員で見えてきた特性を個別で活かせる様に情報交換を行っています。	
関係機関や保護者との連携	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その目的や支援の方向性や役割分担について確認している	6		・最初の活動や子どもの様子を見え、子どもに合わせた活動をするために意見を話し合っています。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行った支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・評価をするときに、その日の子ども様や支援の仕方について職員間で共通理解をする時間をとっております。・形式的ではないが打ち合わせはできています。	
	⑲ 日々の支援に際しては記録をとることを徹底し、支援の記録を改善につなげている	6		・記録はしていますが、それが必ずしも検証・改善に結び付いていないと言えないと認識しています。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	・6か月ごとの計画見直しに、会議内でお子様の事例を共有・議論し、計画の見直しの必要性を判断しております。	
	㉑ 障害児支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に即した関与をふまえて参加している	5	1	・児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		・母子保健や医療機関等での発達相談や療育等での利用を通じて、発達支援の必要性が気付かれることも少なくないため、気付きの段階から継続的支援が行えるよう関係機関との連携に努めていきます。
	㉓ 「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合」地域の保健、医療、福祉関係、教育、子育て支援機関と連携した支援を行っている			・医療、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	㉔ 「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合」子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えている			・医療、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	㉕ 移行支援として、移行期や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（特別支援学級）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を行っている	2	4	・移行期、子ども園、幼稚園等から子どもの様子、支援方法など聴きあいたい場合は随時対応しています。・退園時にモニタリング報告書を作成し、情報共有できるようにしております。	・保護者様のご希望に応じて、情報共有と相互理解を図っていきます。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小規模）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を行っている	1	5	・退園時にモニタリング報告書を作成し、情報共有できるようにしております。	・保護者様のご希望に応じて、情報共有と相互理解を図っていきます。
保護者への説明責任等	㉗ 療育の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	・保護者様から相談を受けていただくため、関係者の了解を得た上で、相互の支援内容や個別の支援内容の共有等について情報共有を行っております。	
	㉘ 療育の認定子ども園、幼稚園等との交流や、協働のイベントも活動する機会がある	1	5		・他園等との交流や同年代の障害のない子どもと活動する機会について検討していきます。
	㉙ 「自立支援」協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		
	㉚ 1日回りの子どもの状況を把握と伝えたい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	6		・個別の支援終了後、保護者様にアンケートやアンケート等を通じて、また、ご希望に応じて、事業所内相談支援も行ってまいります。	
	㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っている	5	1	・連絡帳でのやり取りや送迎時の対応の際にアドバイスを行っています。	
	㉜ 進捗管理、利用費負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	・ご契約時に説明させていただいております。	
	㉝ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供」の「からい及び支援」と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	㉞ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要に応じて支援を行っている	6		・個別の支援終了後、保護者様にアンケートやアンケート等を通じて、また、ご希望に応じて、事業所内相談支援も行ってまいります。	
	㉟ 必要の助言を支援したり、保護者等が会費を補助する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	・那須谷を支援し、育児の悩み等を保護者同士で打ち明けられる場を提供しています。その際に職員も同席し、アドバイス等を行っています。	
	㊱ 子どもや保護者からの相談や介入に対して、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	・あらかじめ職員に申し出るという体制を整えています。	
非常時等の対応	㊲ 定期的な会議等を開催し、活動概要や行事予定、連絡関係等の関係者子どもや保護者に対して発信している	2	4	・定期的にプログラムを更新しております。また、保護者に対しては、職員からメールにて連絡等を行っております。	
	㊳ 個人情報の取扱いに十分注意している	6		・個人情報取扱いは十分注意し、書類等は厳格に管理しております。	
	㊴ 障害のある子どもや保護者の意思の疎明や情報伝達のための配慮をしている	5	1	・視覚的に提示したり、書面でもわかりやすくするなどの配慮をしております。	
	㊵ 事業所向けに地域住民を招き入れる等、地域に開かれた事業運営を行っている	6		・ホームページで評議会等の案内をしております。	
	㊶ 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・定期的に避難訓練を実施しています。	
	㊷ 事前に、服装や手の消毒、てんかん発作時のことなどの状況を把握している	6		・保護者様から事前に取り組みを行い、職員の対応方法については、職員からメールにて取得しております。また、この情報は、全職員に周知徹底しております。	
	㊸ 活動プログラムのある子どもについて、医師の診断に基づき見直しを行っている	4	2	・医師やお父さん等の主治医と保護者様と連携をしております。	・必要な場合医師の指示を確認させてもらうことをします。
	㊹ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3		
	㊺ 研修を中止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	・定期的に研修中止等の入職研修を実施し、園内で研修等権利者の状態について職員間互いではっきりと報告しております。	
	㊻ どのような場合にやむを得ず停業措置を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	・事業所説明会で説明を行っております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価結果です。